



「ふるさと落合栗生地元塾」

落合市民センター×青葉区中央市民センター

1 事業概要

「ふるさと落合栗生地元塾」は平成29年度からの6年間、落合栗生地区の特色ある歴史や史跡について講話と探訪により学びを深めてきた講座です。令和元年度には地域の歴史や史跡等を多くの人に周知・継承していくため「落合栗生地区歴史めぐり」運営委員会を立ち上げました。現在は、史跡等に建てた案内板や案内リーフレットなどを活用し、今までの学びを活かした地域づくりと地域の歴史の周知・継承を目指して活動中です。



2 令和4年度の活動

令和4年度は「稲荷社」、「雷神社」、「オシラ神社」、「回文の碑」、「元文の碑」の5カ所を案内するリーフレットとガイド用テキストを作成しました。さらに、案内板を建てた10カ所の史跡やJR陸前落合駅前に建てた総合案内板の内容を盛り込んだ、今までの6年間の学習の総まとめとなる総合リーフレットを作成しました。また、小学校や児童館、さらには地域団体を対象に、地域の歴史や史跡等をガイドする歴史案内ボランティアとしての活動も行いました。



3 成果と課題

自分たちで作成したリーフレットや案内板を活用し、小学校や児童館には地域の歴史の講話や案内ガイドを、地域の会合の場では講話を実施しました。運営委員会メンバーは、説明対象の年代に合わせて歴史的魅力がより伝わるようなガイドの仕方を工夫することができました。

小学校から地域の歴史を学ぶ授業の講師として、運営委員会に依頼が来るなど、学校との連携が深まりました。このように、地域の未来を担う子ども達に地域の魅力や歴史を伝える活動が出来たことは大きな成果となりました。



4 今後の展望

歴史案内ガイドを経験したことにより、運営委員会が地域のボランティアとして成長できた1年となりました。さらに、6年間の学習の集大成である総合リーフレットが完成したことで、各史跡や駅前に建てた案内板の内容と連携したガイドが可能になり、活動の幅も広がりました。次年度以降も小学校や児童館など、地域団体とのつながりを保ちながら継続して活動できるよう努めていきます。

